

群馬4大温泉地

寒い冬はやっぱり温泉 集客増へ企画も次々…

寒波の到来で身を切る寒さが続いているだけに、温泉のぬくもりが一段と恋しくなる。群馬県を代表する4大温泉地（草津、水上、伊香保、四万）では様々なキャンペーンやイベントを実施し、冬ならではの温泉の魅力をアピールしている。おもてなしの心で待ち受ける各温泉地の取り組みをまとめた。

草津温泉

草津温泉は昨年11月から感謝キャンペーン（2月28日まで）を展開している。今年7〜9月に実施される大型観光宣伝事業、群馬デスティネーションキャンペーン（群馬DC）をにらみ、首都圏の消費者に草津温泉をアピール、本番につなげる狙いがある。

感謝キャンペーン 2月28日まで展開



クサツ（932）にちなんだ企画も。期間中に草津温泉に泊まった客全員にスクラッチカードのくじをひいてもらい、特賞として50組にペア無料宿泊券、1等賞として町内で利用できる9320円の商品券（1000本）などを贈る。

旅行の楽しみみの1つがその土地でしか食べられない郷土料理を味わうこと。草津温泉には古くからおもてなし料理として受け継がれてきた「とうじうどん」がある。大鍋で煮込んだ汁に茹でたうどんを温めて出すもので、このとうじうどんに熊笹パウダーを練り込んだ特製「草津味とうじうどん」がキャンペーン期間中のスペシャルバージョンとして登場。2月は28日に「湯畑」前で振る舞われる。

毎夜開かれている「温泉らくご」もぜひ楽しんでほしい。

水上温泉

アウトドアスポーツのイベント、みなかみスノーランドとして知名度がアップフェスティバル2011しているみなかみ町。今は3月19日の「全日本スノーフェスティバル」も開催される。

3月中旬から スノーフェス



観光客を待ち受ける。最大のイベントが「タイムは計測しない、2時間以内にご入場してください」というルールで、競技会ではない。競技会ではないので、楽しく歩いてランプリシと観光商工課。定員200人。参加費11水上大会は一般1千円、高校生以上を皮切りに2月6日〜3月20日の毎週日曜日には「ガイド21日はみなと行く〜倉沢スノーユートレッキング」も主催する第11回「みなかみ歩くとスノーフェス」で水上名物「けんちん汁」が振る舞われる。参加費5千円。申し込みは水上高原クアーズ協同組合。

伊香保温泉

伊香保温泉の早春の風 光客も思わず笑顔。物詩、石段ひなまつりが 平成3年3月3日の3月5、6日の2日間、並びに、伊香保温泉の象徴として、募集人員は25人（うち、稚児衣装の部10人）。応募者が多い場合は抽選で決める。

3月5〜6日 石段雛まつり



微である石段まつり。昨年（3月6、7日）は大府岸和田市の園児が選ばれ、登場し元々の保育園ユアカメラマンも大勢集まり、大変な賑わいを見せた。伊香保温泉の集客に役買っているのは、伊香保グリーン牧場。宿泊客に限り、入場料を無料にする。期間は1月1日から12月未までの1年間。園児との交流で、泊まった旅館・ホテルで申し込みOK。PRを兼ね「今の時期はいちご狩りね、出演園がお勧め」という。

四万温泉

四万温泉の冬の味覚とる。あがしし鍋で寒さをいけば、郷土料理の「あがしし鍋」がある。今年あがししとは、食用に楽しめる。山の幸と一緒に煮込んだ天然イノシシ肉ならではの濃厚かつヘルシーな味わいを、ぜひぜひ加工したい「ご賞味あれ」と関係者。

「あがしし鍋」 1月20日解禁



加工したい「ご賞味あれ」と関係者。ブランド名を凝らしており、味の違いで、吾妻のイノシシを比べるのもいい。あがしし、がしししゃぶしゃぶ鍋の意匠。農はその名の通り、あがしし作物被害防止肉をしゃぶしゃぶで味止の目的で捕獲したイノシシの肉と上州の効利用で、こんやく、国分人參、中之条など片品村の大根、伊勢崎の吾妻郡の町ごぼう、渋川のシイタケ、村がイノシシ鍋を秘伝のごま味噌ダレで食べる。

り組んだのが始まりとされる。現在、18軒があがしし鍋を提供している。「煮